

近江八幡市立 老蘇幼稚園

日時：2017年2月17日（金）13:30-17:00

2017年2月22日（水）9:30-16:00

場所：近江八幡市安土町老蘇1300番地

4月から老蘇子ども園として運営される老蘇幼稚園。近くには田んぼが広がり、2千年前からある奥石神社など環境学習にピッタリのフィールドがあります。今回は隣接する老蘇小学校との間にある大きなビオトープを舞台にプログラムを作成しました。（対象：3歳児、4歳児、5歳児 計42名）

1日目は講座、下見とプログラムづくり、2日目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。 講師 島川武治（しまっち）さん

ルーペで観察してみよう！

先日まで40センチほど積もっていた雪。少し手に取って、ルーペで観察してみました。すると、手のひらで踊るように溶けていく様子が観察されました。

また、一見何気ない園庭のイチョウの木。よく見ると様々なコケや樹皮の間に冬眠する生き物などが見つかります。水気を含んだコケは、キラキラ光ってきれいです。



おー、雪の塊が手の平で溶けていく様子が見えます。

鉄棒に雨のしずくが垂れてました。



コケを観察。花のツボミのようなものが見えます。



何が入っているのかな？

先生からグループごとに、大きな袋が渡されました。自然のものを入れる袋、それぞれミッションが違います。ツルツルしたもの、ザラザラしたもの、チクチクしたもの、フワフワしたものをグループが担当して、集めます。違うグループが集めた袋の中身を見ずに手で触ると…中に入っているものは分からないけど、ザラザラやチクチクの言葉知って、手で触れて、自然物の感触の多様性を知る遊びでした。

この袋に、グループで自然のものを集めて来てね。



こんなフワフワのもの見つけてきたよ！

袋の中身を触ってみよう。ドキドキするね。

フワフワの中身は、こんなのが入ってたよ。なんと、コケでした。もう一度触ってみてね。どうかな？「フワフワや！」



あつめてつなげてくらべっこ！！

グループごとに、丸いもの、ギザギザしたもの、細長いものを集めておいでと言われた子どもたち。50 個以上の自然物を拾ってきました。拾って来たものをまっすぐ並べていくと、運動場を横断するほどの長さになりました。最後はみんなで手をつないで自然物と比べっこ。自然で遊べる楽しさを知りました。



いろんなのを拾って来たよ。いっぱい集まった！93個も拾って来た。



よーいドンで、拾った自然物を並べました。ずーっと長く延びていくよ。

丸いのやギザギザ、細長いものを集めて来てね。
(分かりやすく絵で表示)



手をつないだみんなと、並べた自然物、どっちが長い比べっこ。

葉っぱのお洋服あたたかいね

「ここに裸の人がおる？」「誰？」「それはこのメタセコイヤの木やで！」「えー！！！」寒い冬やから、葉っぱの服を着せてあげようとのことで、ビニール袋に両面テープを貼りつけて、葉っぱや枝、石などを貼りつけていきます。厳しい冬を乗り越える自然を知る遊びです。

こんな風に、木が服を着ているんだよ。コモっていうんだよ。



葉っぱや枝を貼りつけよう！



完成！
みんなで周りながら、ぐるっと洋服を見てみよう。



降園後にも、子どもが枝を拾ってきて貼りつける姿がありました。

プログラムを終えてのふりかえりから

- ・自園はこんなに自然が豊かで、こんなに自然を使った遊びができることが発見だった。子どもも楽しめていた。これからも自然に触れて、遊んでいきたいと思った。
- ・毎日見ている自然で、こんなに遊べることがあることがすごいと思った。園で出来ることを実践していきたい。